

ごあいさつ

第52回日本PTA東北ブロック研究大会
会津若松大会実行委員長 堀金 寿臣



集おう！ 義をつなぐ会津の地へ

第52回日本PTA東北ブロック研究大会会津若松大会は、令和2年9月5日（土）、6日（日）の2日間、義をつなぐ会津の地において開催の予定でした。新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となりました。

会津若松市で東北ブロック研究大会を開催するのは初めての取り組みでしたので、2年前から実行委員会を立ち上げ、会津のおもてなしの精神で大会を成功させようと準備活動に邁進してまいりました。

そんな中、令和元年9月に山形県南陽市で開催された第2回東北ブロックPTA協議会の会議において、2002年～2003年のSARSや2009年～2010年の新型インフルエンザ、2012年～2013年のMARS等の過去の歴史から、万が一、大会が開催できない状況が発生しないとも限らない、そうしたことも頭の隅に置いて準備を進めていかなければならない、また、その様な配慮をしておくことで、確実に開催できるようになることを強く願うものです、といった趣旨のあいさつをしたことを思い出します。その時には、まさか半年後に会津若松大会の開催中止という苦渋の判断となるとは夢にも思っておりませんでした。

コロナ禍により、会津の特色を生かした研究大会にしよう、時代のニーズに応えられるスリムな大会運営のあり方を提案しよう、そして何よりも会津のおもてなしの心で、参加者の方々の絆を深めることができる研修会にしようという思いを実現できなかったことは誠に残念でした。

しかしながら、大会の準備をとおして学んだこともたくさんあります。それらの成果を地元の子どもの将来のために、今後のPTA活動にも生かしていきたいと思えます。

結びになりますが、東北ブロック研究大会の開催にあたり全般にわたってご指導ご支援をいただきました公益社団法人日本PTA全国協議会の皆様、東北ブロックPTA協議会の皆様、そして多くの関係の皆様にご心から御礼を申し上げます。

次年度の盛岡大会の成功と東北ブロックPTA協議会のご発展をご祈念申し上げまして御礼のごあいさつといたします。